

ミズスギナ

Rotala hippuris Makino
ミソハギ科

【福井県カテゴリー】新：県域絶滅

旧：—

【環境省カテゴリー】絶滅危惧ⅠA類

選定理由

1936年に坂井市または福井市のいずれかで採集記録があるのみ。日本海側で唯一の記録である。採集されてから50年以上が経過しており、かつての自生地を探してもみつからない。

種の特徴

湿地に生える多年生草本。茎は基部で分枝し、節が多い。葉は線形、5～12個が輪生する。水上葉と沈水葉で形や大きさが異なる。花期は9～10月。花は葉腋に付き、白色、柄はない。花弁、雄蕊は4個。

分 布

本州中部～九州に分布。県内では旧坂井郡濱四郷村（坂井市～福井市）に生育していた。

絶滅した要因

産地局限、湿地開発、農薬汚染。

参考文献 佐竹義輔ほか（1982b）

市 町 別 生育情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市

イヌナズナ

Draba nemorosa L.
アブラナ科

【福井県カテゴリー】新：県域絶滅

旧：—

【環境省カテゴリー】—

選定理由

今回、1934年及び1935年の敦賀町（現、敦賀市）での採取記録が確認された。しかし、現在は県内での生育が確認できないことから、県域絶滅とした。

種の特徴

草地に生える越年草。茎は高さ10～30cm、単生し、下部から枝をわける。根出葉はへら状長楕円形、茎葉は長卵形～長楕円形、両面有毛。花は黄色でまばらな総状花序になる。花期は3～6月。

分 布

北海道～九州に分布。県内では敦賀市での記録がある。

絶滅した要因

草地開発。

参考文献 若杉孝生（2008a）

市 町 別 生育情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市
						●											

キンギンボク

Lonicera morrowii A.Gray
スイカズラ科

【福井県カテゴリー】新：県域絶滅

旧：—

【環境省カテゴリー】—

選定理由

県新産。細井與三右衛門氏採集の標本を確認。最後に採集されてから50年間以上経過しており、かつての自生地及びその周辺を精査してもみつからないため、絶滅したと判断される。

種の特徴

山地に生育する高さ1～2mの落葉低木で密に分枝する。若枝や葉には軟毛が密生する。花は4～6月に葉腋から出た柄に2個ずつ着き、花冠は初め白くのち黄色に変わる。液果は2果が合着し、7～9月に赤く熟する。

分 布

北海道（西南部）～本州（東北地方及び日本海側）に分布。県内では越前市での記録がある。

絶滅した要因

生育地の消失。

参考文献 若杉孝生（2008a）

市 町 別 生育情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市
												●					